



戦後80年、調布市国際交流平和都市宣言35周年

調布市平和展



戦争による被害の実相や次代を担う子どもたちの平和への想いなど、様々な角度から戦争・平和について学び、考える機会とするため「平和展」を開催します。

令和7年
7月31日(木) ~ 8月6日(水)
午前10時~午後6時 **入場無料**

戦争の実相を知る



防毒面
(提供/昭和館)

原爆の悲惨さを伝えるポスターのほか、平和関連施設から借用した貴重な資料を展示します。

記憶・想いをつなぐ



作/田邊俊三郎さん
提供/調布平和のつどい実行委員会

調布市原爆被害者の会(調友会)設立者である田邊俊三郎さんが描いた絵の複製パネル展示や、現会員の方による講話を実施します。

●講話(予定)
8月3日(日)
午前11時~正午

調布市の平和に向けた取組



ピースメッセンジャーの取り組みについての展示や、折り鶴プロジェクト、調布市の平和都市宣言等、調布市の平和に向けた取組について展示します。



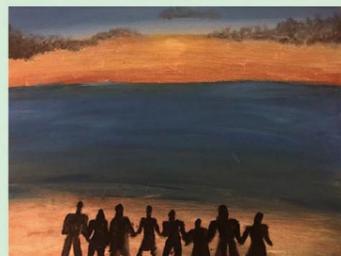
(ピースメッセンジャー2024)

世界中の平和への想い



令和6年度 11歳~15歳の部
平和首長会議会長賞/最優秀賞
大地 粋さん

提供/平和首長会議



令和6年度 6歳~10歳の部
最優秀賞
シャヴィヴァ・ウインスレイドさん

平和首長会議が加盟都市の子どもたちを対象に実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024」における世界の入賞作品を展示します。

令和7年度 ピース・レター ちょうふ



調布市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



ピース・レターちょうふは、調布市の平和に関するイベントや取組をまとめた情報誌です

“みんなで考えよう 平和”

戦後80年、市制施行70周年、調布市国際交流平和都市宣言35周年

調布市では、昭和58年9月27日に市議会が「調布市非核平和都市宣言」を、平成2年3月23日に市が「調布市国際交流平和都市宣言」をしています。また、平成22年8月1日に平和市長会議(現:平和首長会議)、令和3年4月1日に「日本非核宣言自治体協議会」へ加入しました。令和7年は戦後80年、市制施行70周年、調布市国際交流平和都市宣言35周年の節目となる年です。この機会に、私たちのまちの都市宣言に触れ、平和について一緒に考えてみませんか。



調布市非核平和都市宣言



調布市国際交流平和都市宣言

調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2025

“私にとっての平和”をテーマに絵を描いてみよう

平和首長会議は、世界166か国・地域の8,400を超える都市が加盟しており、全加盟都市の子どもたちを対象とした「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2025」を実施し、作品を募集します。

調布市では、市内在住・在学の子どもたちを対象に「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2025」を実施し、平和首長会議へ応募する作品を募集します。



令和6年度 6歳~10歳の部
横田優里さん

募集要項 ※詳細は市HPをご覧ください。

1 募集部門

- 「6歳~10歳の部」
- 「11歳~15歳の部」

調布市長賞、調布市議会議長賞、調布市教育長賞、調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞、調布市文化協会会長賞を1点ずつ選定し、表彰します。表彰された作品を平和首長会議へ提出します。

2 応募方法

“私にとっての平和”をテーマにした絵画作品と一緒に申込書(作品に込めた思い等を記載)を市役所8階文化生涯学習課へ郵送または持参で提出してください。申込書は市HPからダウンロードできます。

応募先: 〒182-8511 調布市小島町2-35-1
調布市文化生涯学習課「平和なまち絵画コンテスト」担当

3 募集期間

7月8日(火)~9月30日(火)(必着)

4 留意事項

- 絵画の大きさはB4(257×364ミリ)、八つ切り又はA3(297×420ミリ)のサイズで、白色の画用紙とし、使用する画材は自由。
- 応募は一人一点まで。
- 著作権(アニメキャラクターなどを含んだ作品)、商標権、肖像権など第三者の権利を侵害しないものであること。
- 赤十字の標章や、それに類する標章等が描かれていないこと
- 市に提出された応募作品の著作権・使用権は市及び平和首長会議に帰属します。また、応募作品は、市及び平和首長会議のホームページ等で当該作品の画像のほか、作者の氏名・年齢・住んでいる国名・都市名・作品に込めた思いを公表する場合があります。
- その他留意事項については市HPをご確認ください。

5 お問い合わせ

調布市文化生涯学習課 Tel: 481-7139
詳細について、また、申込書のダウンロードはこちらの市HPから →



作品展

募集期間中に応募のあった全作品を展示します。原爆被害等を疑似体験できるVR映像を収録したVRゴーグルも試着できます。

■期間: 令和8年3月10日(火)~17日(火) ※15日(日)に授賞式を予定 ■場所: 文化会館たづくり1階 エントランスホール

【問い合わせ】

調布市生活文化スポーツ部文化生涯学習課 電話 042-481-7139

発行/調布市 編集/生活文化スポーツ部文化生涯学習課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1 Tel:042-481-7139 Mail:bunsin@city.chofu.lg.jp

発行日/令和7年7月

市内の平和イベント

文化会館たづくり

調布市平和展

7月31日(木)～8月6日(水)

詳細はピースレター裏面へ(担当:文化生涯学習課)

中央図書館

●平和祈念読書事業

平和祈念「図書展」

7月30日(水)～9月15日(月・祝日)

図書館では毎年、戦争体験記や戦争に関する図書の展示と貸出をしています。

平和祈念公開「講演会」

8月9日(土)午後2時～4時

文芸講演会「平和と俳句を考えるー沈黙を拒む俳句」

講師:角谷昌子氏

会場:文化会館たづくり12階大会議場

定員:200人(当日先着)※手話通訳者あり

平和祈念公開「読書会」

8月7日(木)午前10時～正午

公開緑陰(りょくいん)読書会

『桜島』梅崎春生著

会場:文化会館たづくり6階602会議室

※事前申し込みが必要です。申し込みについては市報7月5日号をご覧ください。

西部公民館

平和フェスティバル

「テレジン収容所を語り継いで35年～野村路子氏が伝える平和への希望」

8月9日(土)午後1時30分～4時

講演と中学生のダンスおよびクラシックミニコンサート

講師:野村路子氏(作家・テレジンを語り継ぐ会代表)

演奏:飯吉真子、飯吉まりあ、民谷香子、小椋由理(ピアノ四重奏)

会場:西部公民館ロビー

※事前申し込みが必要です。

申し込みについては市報7月5日号をご覧ください。



昨年度の様子



野村路子氏



昨年のコンサートの様子



第五中学校 ボランティアダンス部



田邊俊三郎さんの描いた原爆の絵(原画)

郷土博物館

ギャラリー展
「再びあるまじき～田邊俊三郎さんが絵にした広島での被爆体験～」

7月1日(火)～8月24日(日)午前9時～午後4時

調布市に暮らし、市内の原爆被害者の会(調友会)を立ち上げた田邊俊三郎さんは、生前、広島での自身の被爆体験を絵にし、国内外で証言活動を続けました。本展では、田邊さんの描いた13枚の原爆の絵(原画)を展示します。広島・長崎に人類史上初となる原子爆弾が投下されてから80年、戦争の記憶が風化されぬよう、平和について考える機会となれば幸いです。

郷土博物館
休館日:月曜(祝日の場合は翌平日)
会場:全て郷土博物館2階ギャラリー

東部公民館

平和展示「市民が作った『東京大空襲』紙芝居+詩の朗読上映」

7月19日(土)～8月6日(水)午前9時～午後9時30分(月曜日休館)
上映日:期間内の土曜日、午後1時～、30分程度

紙芝居作品の展示と共に、登録団体トルヴェールによる同紙芝居公演と詩の朗読(原真喜作「水戸下サイ」、谷川俊太郎作「生きる」)の発表映像を、日程を限定してギャラリー内で上映します。

会場:北部公民館1階展示室



調布自分史の会制作紙芝居「東京大空襲」

原ばくの話を読みまよう
「広島でのそのとき～被ばく体験のリアル～」

8月2日(土)午前10時30分～11時30分

対象:小中学生とその保護者

内容:河野良彦さんが語る広島での被ばく体験、田邊俊三郎さん作の原ばくの絵の解説
話し手:河野良彦さん(調布市原爆被害者の会)、宮代一義さん(調布平和のつどい実行委員)

定員:15人(多数抽選)

※事前申し込みが必要です。申し込みについては市報7月5日号をご覧ください。

ギャラリー展
「先生お元気ですか～神代村に疎開した子どもたちの手紙～」

9月2日(火)～11月24日(月・祝)
午前9時～午後4時

昭和19(1944)年に戦争による空襲の被害を少なくするため、青南国民学校(現在の港区立青南小学校)の子どもたちが調布市域に疎開しました。当時、子どもたちが軍に入った学校の先生に宛てて書いた手紙を展示します。また、教師や元疎開児童が語る、戦後80年を迎える戦争・平和への想いにつづきます。

郷土博物館
休館日:月曜(祝日の場合は翌平日)
会場:全て郷土博物館2階ギャラリー

「疎開児童の手紙第136信」

平和に向けた取組

ちょうふピースメッセンジャー

市民の代表「ピースメッセンジャー」として、市内の中学生を被爆地に派遣し、その後、平和の想いを広げていきます。令和7年度は広島に派遣します。



ピースメッセンジャー2024(平和祈念像/制作:北村西望)

ちょうふピースメッセンジャージュニア

FC東京の夏のアウェイゲーム開催にあわせて、市内の小中学生を「ピースメッセンジャージュニア」として派遣し、各地にのこる戦跡巡りなど平和学習を行います。令和7年度は京都に派遣しました。



ピースメッセンジャージュニア2025

主催/調布市・FC東京
協力/株式会社渋谷不動産エージェンツ

ちょうふピース部

これまでに任命されたピースメッセンジャーたちが、派遣された年度以降も継続的に活動ができるよう、令和5年度に「ちょうふピース部」を立ち上げ、活動が始まりました。



ちょうふピース部

調布市国際交流平和基金

国際交流事業及び平和事業を進めるため、基金を設置しています。寄附に御協力いただける場合は、文化生涯学習課にご連絡ください(☎481-7139)。

【令和7年度の基金充当事業(予定)】

- ・ピース・レターちょうふの発行
- ・平和派遣事業の実施
- ・ピースメッセンジャー、ちょうふピース部の活動 など

防災行政無線による黙とうの呼びかけ

防災行政無線で「黙とう」を呼びかけます。呼びかけは、令和7年度ピースメッセンジャーの声で行います。※緊急災害発生時等には中止する場合があります。ご了承ください。

- 8月6日(水) 午前8時15分～ 広島原爆投下時刻
- 8月9日(土) 午前11時2分～ 長崎原爆投下時刻
- 8月15日(金) 正午～ 終戦記念日
- 3月10日(火) 午後2時～ 東京都平和の日

日本非核宣言自治体協議会「親子記者事業」

市が加盟している日本非核宣言自治体協議会が、会員自治体の小学生とその保護者を長崎市に招待し、現地での取材等を通して「おやこ新聞」を作成します。募集時期:例年4月頃
実施主体:日本非核宣言自治体協議会(長崎市平和推進課内)

※各イベントについて、詳細は市報もしくは市ホームページをご覧ください。内容が変更となる場合があります。

施設紹介

市内には戦争や平和について学べる施設があります



1 平和の塔

481-7101、7102(福祉総務課)

市役所の前庭に、戦争で亡くなられた方々のご冥福(めいふく)を祈り、平和の誓いを込めて建てられた「平和の塔」があります。また、今日の平和が永遠に続くことを願い、平和祈念祭を毎年実施しています。



2 東部公民館

03-3309-4505

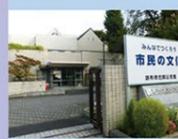
京王線仙川駅徒歩8分、桐朋学園の南西にあります。平和を守り続ける大切さを学び、考える事業として、例年、戦争体験をお聞きする講座、講演会、平和関連展示、映画会、見学会などを実施しています。



3 西部公民館

484-2531

飛田給小学校の近くにあり1階は西部児童館です。毎年夏には、平和についての講演とミニコンサート、さらに地元の中生にも参加を呼びかけて「平和フェスティバル」を実施しています。また、年間をとおして、市民とともに平和を考えるための講座や展示を行っています。



4 北部公民館

488-2698

神代中学校、上ノ原小学校の近くにあり。幅広い世代の市民とともに様々な視点で過去の戦争や今ある平和について考えるための事業として、講座や講演会、フィールドワーク、関連展示など開催しています。



5 中央図書館

441-6181

市内には11の図書館があります。全館で戦争や平和に関する図書を所蔵しています。中央図書館では、平和祈念図書展示も毎年行っています。



6 郷土博物館

481-7656

郷土の歴史や文化、自然、美術に関する資料を収集・保管し、さまざまなテーマの展示・イベントを行っています。戦時中の暮らしや空襲に関する収蔵資料を常設展示やギャラリー展示などで紹介しています。※館内燻蒸作業のため、10月9日(木)から10月16日(木)まで休館。



A 市役所前庭の平和都市宣言パネル

「調布市非核平和都市宣言」、「調布市民憲章」、「調布市国際交流平和都市宣言」を掲載したパネルを市役所前庭に設置しています。外国の方にも読んでいただけるよう英文でも表記しています。



B グリーンホール壁面の平和都市宣言パネル

令和元年度に「調布市非核平和都市宣言」、「調布市国際交流平和都市宣言」を掲載したパネルをリニューアルし展示しています。



C 掩体壕(えんたいごう)

調布飛行場は陸軍が使用したため、戦争中は何度も空襲にあいました。掩体壕は戦争中に戦闘機を空襲から守るための施設です。コンクリートで天井を覆ったものや、天井のないものも作られました。都立武蔵野の森公園内に掩体壕が残されており、実際に見ることができます。